



© JAXA

● 黒き衛星

イプシロン2号機に搭載されるジオスペース探査衛星ERG（エルグ）には「あらせ」という愛称が付けられました。荒々しい高エネルギー粒子に満ちたヴァン・アレン帯という宇宙の「荒瀬」に漕ぎ出していくことと、町の「荒瀬川」にちなみます。

その高エネルギー粒子に満ちたヴァン・アレン帯は、地球を取り囲むようにして存在しています。

厳しい放射線環境帯であるとともに、生命にとって有害である太陽風を遮るシールドのような役割をもっています。

あらせはヴァン・アレン帯に存在する、高エネルギー電子の誕生と消失の過程を1年以上観測する衛星で、太陽電池パドルを持つ黒い箱型の機体です。総重量は約350キログラム。強い放射線にさらされるヴァン・アレン帯の中心で、高精度の観測を行うために放射線シールドや放射線耐性の高い部品、材料の採用など様々な工夫が施されています。

世界の様々な研究機関もこの計画を待ち望んでいて、それらと協力して研究を進めることで、宇宙天気予報の精度向上や人類の宇宙進出の広がりなどが期待されます。

あらせのプロジェクト担当者は「国際探査の一翼を担うものになると信じている」と話しました。

